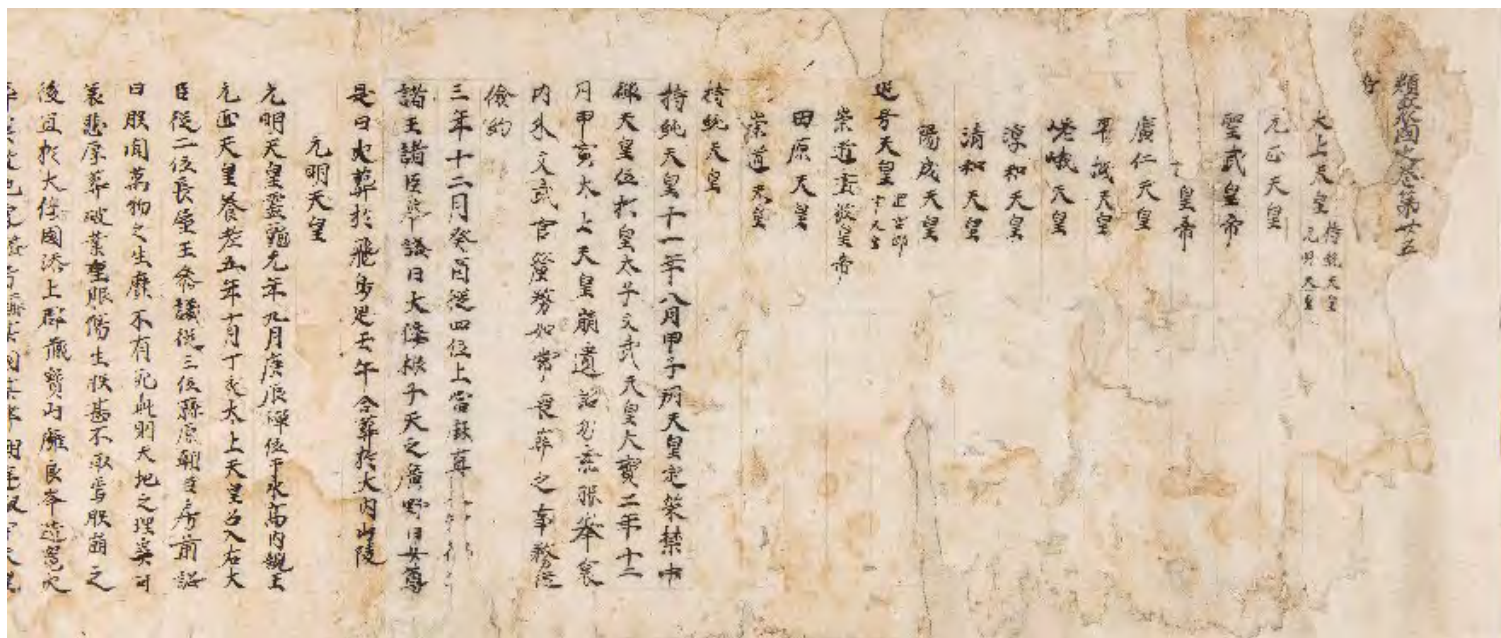


狩野文庫デジタル化の現場について



【国宝】 類聚国史卷第二十五（一卷）（狩野文庫）

○狩野文庫とは？ → 狩野亨吉(かのうこうきち) の旧蔵書。

○狩野文庫の何がすごい？

→ 量の多さ = 約 3 万 5 千点 (≡ タイトル数、帙数)

約 10 万 8 千冊の大コレクション

(ちょっとした図書室並み)

質の高さ = 国宝 2 点をはじめ、原本・写本・稿本、
数多くの未刊本など貴重なもの多数。

幅の広さ = 和漢書を主に幅広く収集、百科全書の
ように満遍なくカバー

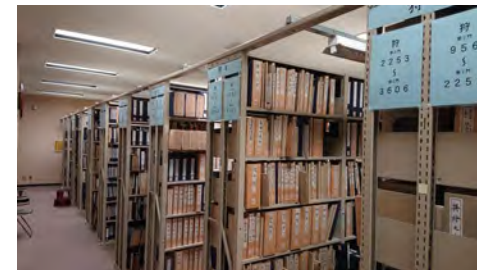
「古典の百科全書」「江戸学の宝庫」

○狩野文庫は何に使える？

→ **江戸時代以前について**、たいていの分野は

狩野文庫に資料がある

= 狩野文庫自体が一つの図書室のような存在



狩野文庫の保存室

狩野文庫のデジタルアーカイブ化 = ネット上に図書室を作る

“狩野文庫、その名は東北大学文系の顔である。大家・研究者が文庫閲覧のために
仙台詣でを行う話は枚挙にいとまがない。” 渡辺信夫東北大学名誉教授

→ 現在でも「仙台詣で」あり。

出版物掲載・テレビ放送等が毎年100件以上

■ 共同プレスリリース ■

令和2年9月24日



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館



東北大学

TOHOKU
UNIVERSITY

「古典の百科、江戸学の宝庫」

東北大学狩野文庫をデジタル公開へ

東北大学附属図書館所蔵狩野文庫の古典籍を国文研でデジタル化

概要

国文学研究資料館（以下、「国文研」）と東北大学附属図書館（以下、「東北大図書館」）は、東北大図書館が所蔵する狩野文庫の古典籍のデジタル化を行い、順次WEB上で一般公開してまいります。

第一弾として、東北大図書館所蔵の狩野文庫のうち232点を、本年9月24日（木）に国文研の「新日本古典籍総合データベース」で公開いたしましたのでお知らせいたします。

東北大図書館は、数多くのコレクションを所蔵する日本有数の図書館です。中でも狩野文庫は、明治の思想家・教育者として有名な狩野亨吉（かのう こうすけ 1865-1942）の108,000点に及ぶ旧蔵書で、文学・哲学・科学をはじめ美術、兵学などあらゆる分野に及びます。その充実した内容から「古典の百科全書」「江戸学の宝庫」として世界的に有名です。

国文研は狩野文庫のうち主に古典籍について、平成30年度よりデジタル化を開始しました。今後はマイクロフィルムからの画像作成も進め、順次公開する予定です。

公開された画像は、インターネット経由で、いつでもどこでもご覧いただけます。ぜひご活用ください。

- 公開年月日：令和2(2020)年9月24日（木）
- 公開数：232点（作品数）・13,073コマ（画像ファイル数）

<https://kotenseki.nijl.ac.jp>
東北大学附属図書館所蔵の公開資料リストはこちら▼
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/page/list-thklkano.html>（デジタル）
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/page/list-thkk.html>（マイクロ）



（狩野亨吉）

- 利用条件：
どなたでも公開サイトから閲覧が可能です。
画像の転載を希望する場合は、東北大学附属図書館に問い合わせが必要です。
ただし、本件報道に関わる画像は、別紙記載のURLよりダウンロード及び報道目的での利用が可能です。

本件に関するお問い合わせ先

国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター
事務局 管理係
E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp
TEL: 050-5533-2988 / FAX: 042-526-8883

東北大学附属図書館
情報サービス課貴重書係
E-mail: etsu2@grp.tohoku.ac.jp
TEL: 022-795-5939 / FAX: 022-735-5949

■ 別紙 ■

東北大学附属図書館所蔵狩野文庫 公開リスト

先行公開は料理関係

	書誌ID	書名	備考	
1	100306716	江戸名所花暦	えどめいしょはなごよみ	狩3
2	100306717	毛吹草	けぶきぐさ	狩4
3	100306718	水鳥記	すいちょうき	狩4
4	100306719	新版／江戸春一夜千雨	しんぱん／えどのはるいちやせんりょう	狩4
5	100306720	御聖代節用學問	ごせいだいせつようがくもん	狩4
6	100306721	七色合點豆	なないろがてんまめ	狩4
7	100306722	唯心鬼打豆	ただごころおにうちまめ	狩4
8	100306723	人心鏡寫繪	ひとごころかがみのうつしえ	狩4
9	100306724	見徳一炊夢	みるがとくいっすいのゆめ	狩4
10	100306725	煩悩即席書捉料理／四人詰南片傳 偏	ぼんのうそくせきばだいりょうり／よにん づのなんべんあやつり	狩4
11	100306726	笑増厄災除講釋	わらいますやくはらいのこうしゃく	狩4
12	100306727	東上總夷瀛郡／白藤源太談	ひがしかずさいしみのこおり／しらふじげ んたものがたり	狩4
13	100306728	繪本江戸土産	えほんえどみやげ	狩5
14	100306729	拳會角力圖會	けんさうえすまいずえ	狩5
15	100306730	座敷芸一杯機嫌	ざしきげいっぱいきげん	狩5
16	100306731	大昇家傳書	おおくさけでんしょ	狩6
17	100306732	臨時客應接	りんじきやくあしらい	狩6
18	100306733	日本山海名産圖會	にほんさんかいめいさんずえ	狩6
19	100306734	甘蔗作方砂糖製法口傳書	かんしゃつくりかたさとうせいほうくでん しょ	狩6
20	100306735	砂糖製作記	さとうせいさくき	狩6
21	100306736	手造酒法	てづくりしゅほう	狩6
22	100306737	度量徴	どりょうちょう	狩6
23	100306738	備荒草木図	びこうそうもくず	狩6
24	100306739	民間備荒録	みんかんびこうろく	狩6

https://www.tohoku.ac.jp/japanese/newimg/pressimg/tohokuuniv-press20200924_01web_kano.pdf



東北大学狩野文庫デジタルアーカイブシンポジウム

江戸の遊び

新日本古典籍総合データベース

菓子譜 (かしふ)



URI <http://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100306913/viewer/34>

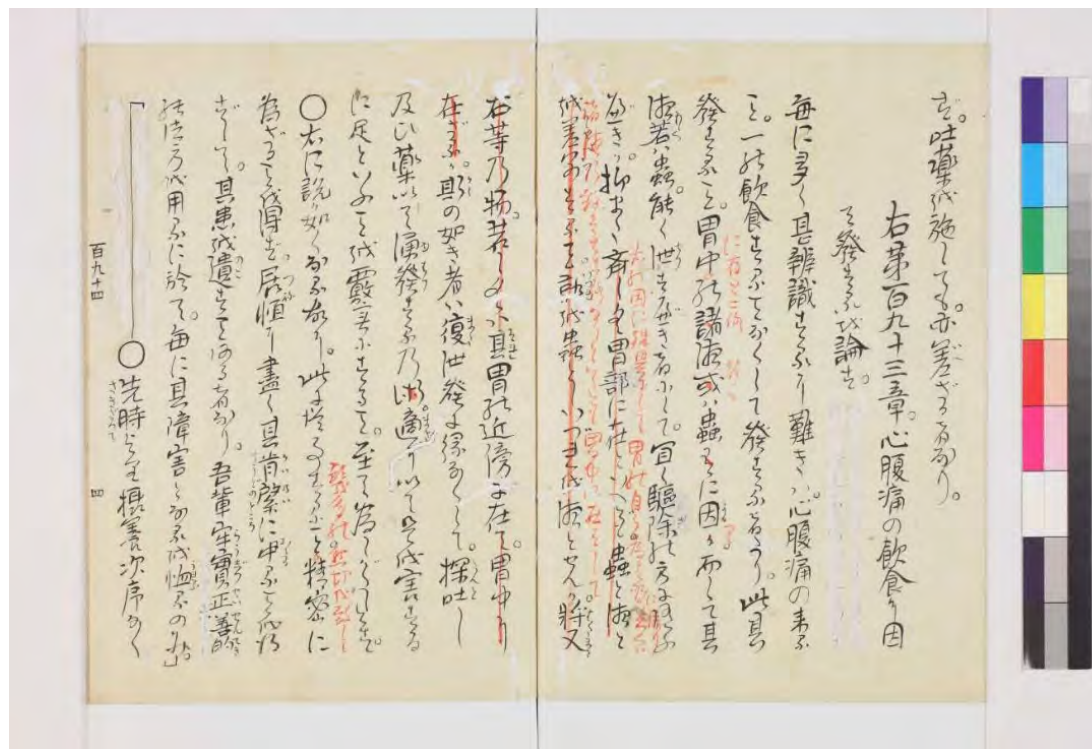
<http://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100306913>

新日本古典籍
総合データベース
公開中

ポスターの背景に使用
している色とりどりの
かわいい絵柄もデジタル
化された資料「菓子
譜」からとったもの



新日本古典籍
総合データベース
公開中

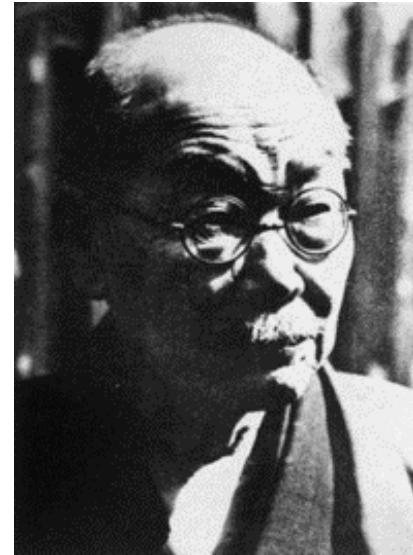


『西説内科撰要（せいせつないかせんよう）』 卷十二

ヨハネス-デ-ゴルテル著、宇田川晋（槐園・玄随）訳

『解体新書』（一七七四）に代表されるように、西洋医学書の翻訳では外科が先行していたが、本資料は初の西洋内科書の翻訳であり、当時の内科医に大きな影響を与えることになった。全十八巻で寛政四年（一七九二）から文化七年（一八一〇）にかけて刊行されたとされている。原著はオランダのゴルテル（Johannes de Gorter）の『Gezuiverde Geneeskunst, of Kort Onderwys der Meeste Inwendige Ziekten』（一七七四）。本資料は狩野文庫所収で、第十二巻の稿本とされており、朱字による加筆や胡粉による修正の跡が残されている。

<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/100270340/>



○狩野亨吉とは？

→ 1865年現在の秋田県大館生まれ、東京帝大で数学と哲学を学び、四高、五高で教鞭をとり、一高校長、京都帝大文科大学初代学長。44歳で官職を辞す。以後は明鑑社の看板を掲げ、書画の鑑定売買を生業に。安藤昌益や本多利明を発見したことでも知られているが、発表した論文は少数、著書は残していない。**夏目漱石との親交**も深かった。狩野文庫は国文学や国史などで注目されることが多いが、本人は理系にも強かった。文庫中には和算をはじめとする科学関係の資料も多い。科学への興味を持ちつづけ、晩年にもアインシュタインやディラックなどの講演に参加したと言う。

○狩野亨吉にとっての狩野文庫は？

→ 若い頃から古書店を回り、蒐集家として有名。以下のような発言が残っている。
 「学生時代に**日本の思想史と云うものを調べて見たい**と云う考がありまして、其の考が後まで幾らか影響して居った訳ですが、併し思想と云うでも**単に哲学とか宗教とか云ふやうなことに限らないで、科学でも芸術でも皆入れてやる積り**であつたのですから、何となしに集めたのです。」
 狩野には「**古書店から棚単位で買い付け**、点検して良いもの・入手していないものを残し、そうでないものは返却したり、譲ったりした」と言う伝説がある。真偽はともかく「そのような集め方をしたのかもしれない」と思わせるものが狩野文庫にはある。

1907年 東北帝国大学設置
この時点では札幌の農科大学のみ

1911年 東北帝国大学理科大学設置
図書館設置
ようやく仙台に拠点

1912年 狩野亨吉の蔵書を購入
東北帝大総長の澤柳政太郎の尽力と
実業家の荒井泰治の**寄附3万円**による
(当時の理科大学経常費が5万円)。
当時の理科大学蔵書は1万4千冊
別枠で狩野文庫 6万冊。

1922年 東北帝国大学法文学部設置
(最初の文科系学部)

1926年 附属図書館本屋竣工
ようやく閲覧環境が整備

澤柳政太郎 (さわやなぎまさたろう)
教育者、東北帝国大学
総長時代に傍系入学を
進め、女子学生入学の
道筋をつけた。狩野亨
吉の学生時代からの親
友、一高校長の後任と
して亨吉を推薦。東北
帝大総長に亨吉を推薦
したことも。



荒井泰治 (あらいたいじ)
仙台出身の実業家、政
治家。中江兆民のもと
で仏語と法律を学んだ
後に、数々の事業に成
功、全国有数の実業家
に。地元の仙台の経済
振興にも力をふるい、
鉄道や瓦斯、綿織物等
の事業も手掛けた。貴族院議員。



狩野文庫デジタル化の基本方針

貴重書と彩色資料 → カメラ撮影（業者）
マイクロフィルム → デジタルコンバート

「狩野文庫」
マイクロフィルム
あつての計画

国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍に関する国際共同研究ネットワーク構築計画」（以下、歴史的典籍NW事業）により

【貴重書と彩色資料】東北大学内で業者によるカメラ撮影

【マイクロフィルム】以下のスケジュールでデジタルコンバート

→ 歴史的典籍NW事業のデジタル化対象とマイクロフィルム収録コンテンツがほぼ一致することからフィルムまるごとのコンバートが可能

コンバート計画（撮影見込数）

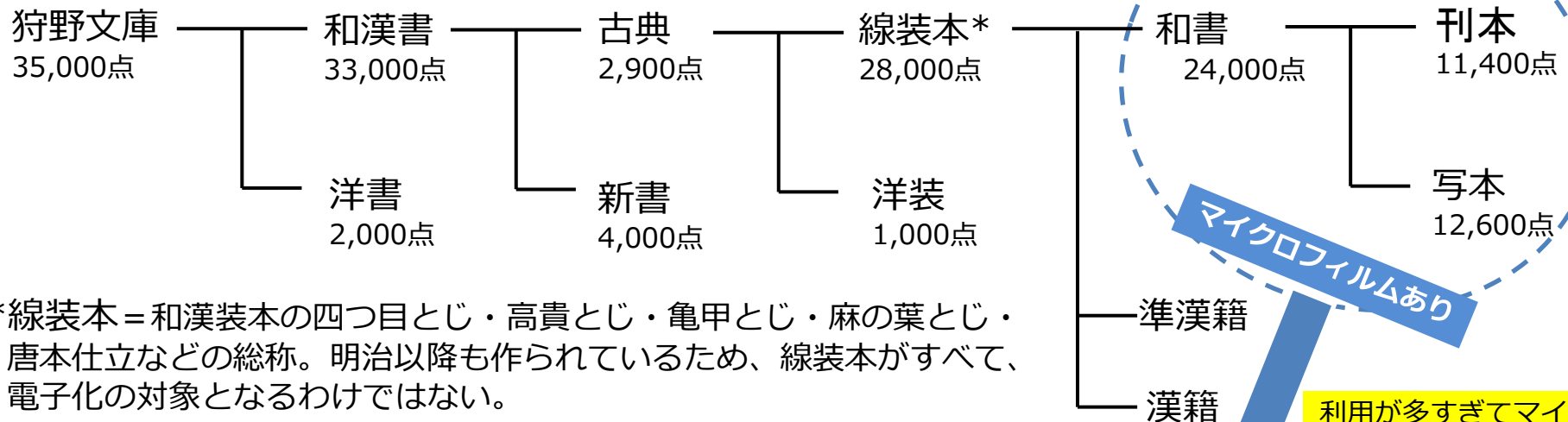
	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023
マイクロフィルム コンバート	7,8,10門 3,888点	1,6,9門 3,868点	2,5門 4,864点	3門 3,800点	4門 5,160点

※ データ整備等に時間を要するため、公開は翌年度

- ※ 東北大学では古典資料を、貴重書・準貴重書・一般古典と三段階に分け、管理方法も分けている。狩野文庫は準貴重書だが、その中でも特に重要なものは貴重書として指定している。
- ※ 歴史的典籍NW事業のデジタル化対象は、国書総目録に準じ、1868年以前に日本人により著編選訳されたもので、書籍・絵巻物・書画帳等。古文書、一枚物、漢籍は対象外。なお当館では当事業で狩野文庫以外の資料の電子化も進めている。

狩野文庫の構成イメージ

石田、高木、曾根原、「狩野文庫目録和書之部」成立の経緯、
東北大学附属図書館研究年報. 1995, 28, p.26-47 より作成



マイクロフィルムあり

利用が多すぎてマイクロフィルムリーダーがもたない

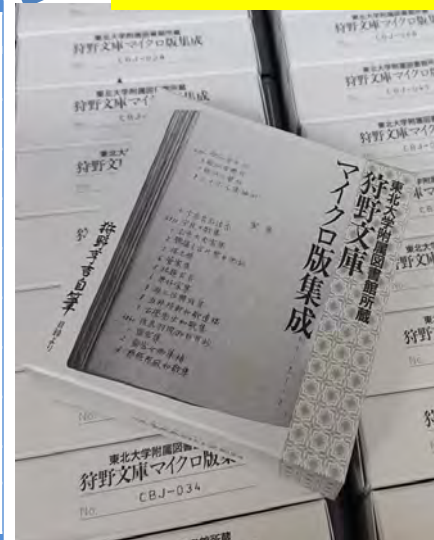
「狩野文庫」マイクロ版集成

- ・東北大と丸善株式会社（当時）、富士写真フィルムの共同事業（フィルムの権利は東北大）。
- ・狩野文庫マイクロセンター設置し撮影(1991.11-1993.3)現場スタッフ20人+現像検査5人
- ・時間をかけて丁寧に作成
 - ・モノクロだが画質は良い
 - ・一部、カラーフィルムも
 - ・糸切りして喉まで撮影
- ・国内外の多数の機関に頒布
(現在も丸善雄松堂から販売している)

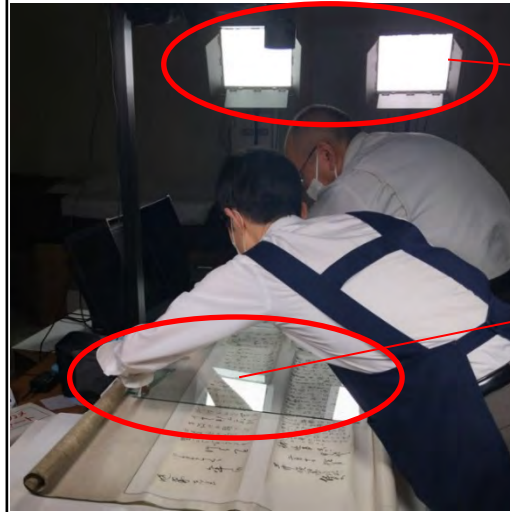
https://kw.maruzen.co.jp/ln/mc/mc_kano.html

- ・丸善雄松堂に相談の上、デジタル化に踏み切る

部門	部門名	タイトル
第1門	総記・雑書	779
第2門	哲学・宗教・教育	2,928
第3門	歴史・地理	3,800
第4門	語学・文学	5,160
第5門	美術・工芸・技芸	1,936
第6門	法律・政治・経済	2,116
第7門	数学	1,633
第8門	理学	417
第9門	医学	973
第10門	工学・兵学	1,836



カメラ撮影(業者)

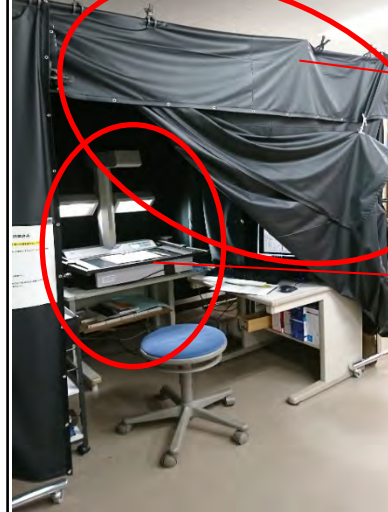


高照度ライト

ガラス板

※資料をフラットにして撮影するために使用、脆い資料も多く慎重な取り扱いが必要

スキャナ



簡易暗室

※部材をホームセンターで集めた手作り。夏は暑い。

オーバーヘッドの
ブックスキャナ

※国文研より借用のハイスpek機、狩野文庫以外の電子化で使用

カメラ撮影 (スタッフ)



簡易撮影機

※スタッフ用の簡易なもので、業者機材と比べるとライトが暗い。

マイクロフィルムコンバート



マイクロフィルムの
コンバーター

※フィルムからの投影画像をデジタルで記録。

NW事業では、国文研で専門の業者に一括発注し、高速の機械でロールフィルムを自動撮影、一気にコンバートするので、大量のデジタル化が可能

カメラ撮影（業者）



スキャナ



ライトのため
細かな凹凸が
皺のように見
えるが、和紙
等の手漉きの
紙はある程度
の凹凸がある
のが普通。

カメラ撮影（スタッフ）



業者撮影と
比べると暗い。
合紙を入れ
ていないので
裏映りあり

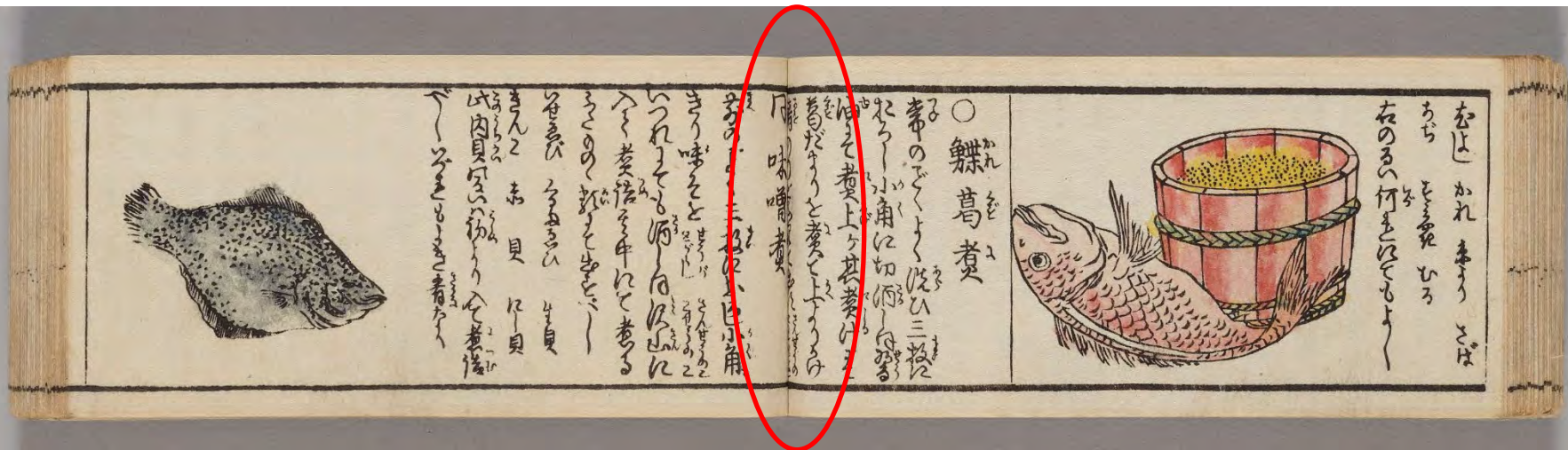
マイクロフィルムコンバート



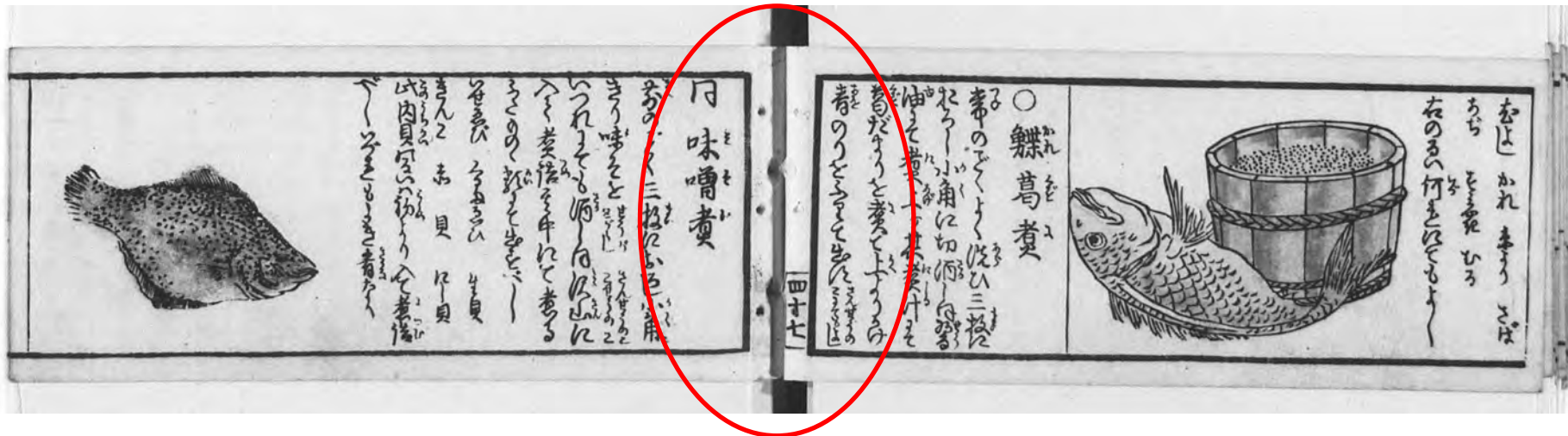
撮影方法	長所	短所
カメラ撮影 (業者)	・ 高品質	・ 費用は高い ・ 撮影を請負える業者が限られている
カメラ撮影 (スタッフ)	・ 費用は安い（人件費は不要） ・ 柔軟に追加撮影もできる ・ スタッフも<u>暇</u>ではない	・ 画質は業者撮影と比べるとクオリティは落ちる
ブック スキャナー	・ 誰でも一定の質の画像が得られる	・ 画質は撮影より低い場合あり ・ スピードが遅い場合あり ・ スキャナ価格はピンキリ
マイクロフィルム コンバート	・ 高速でデジタル化が可能	・ フィルムの画質に依存 ・ 機械的に変換、ピントが甘い場合も ・ 高速の機械は高価

画像のクオリティは、カメラと照明で決まる

→ ガラス板で押さえながら、強力なライトで照らしつつ、自然な写真を撮るのは簡単ではない

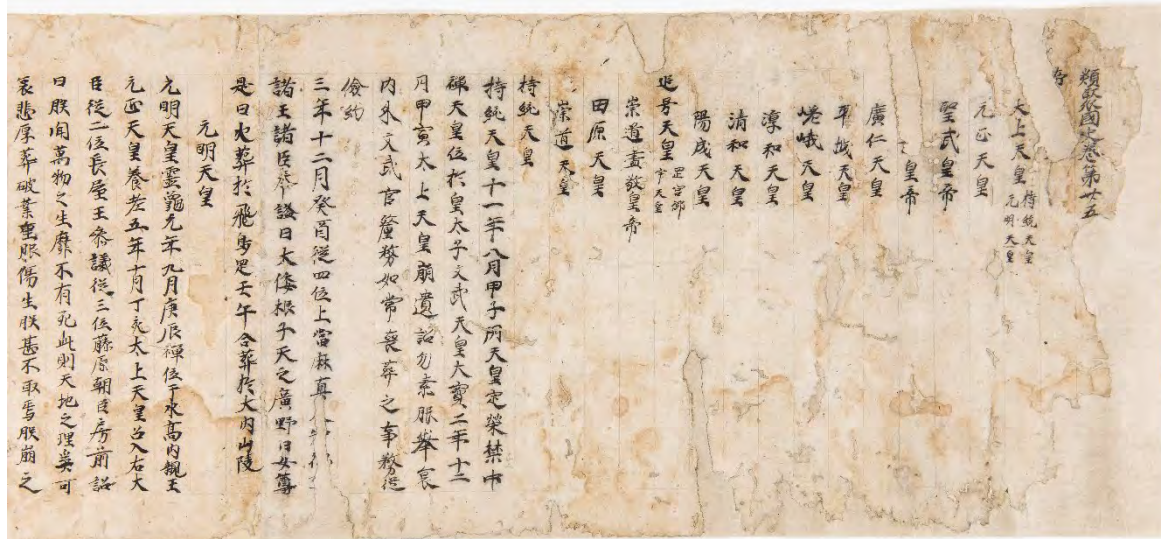


マイクロフィルム撮影時には、糸切りしているので
ノドの部分も綺麗に撮影できている



- 【狩野文庫】の電子化 : NW事業対象外の資料
 - ・ 絵図・古地図等の1枚もの
 - # 国文学研究資料館科研費で撮影を進める予定だが、すべては困難。
 - ・ 漢籍
 - ・ 洋書
 - ・ 暦（南部暦など各種暦）
 - ・ 売立目録（古書の販売目録、資料の写真も多数掲載）
 - ・ 印譜（蔵書印等の印章の印影のカatalog）
 - ・ その他いろいろ（マッチのラベル、雑誌附録・・・）
- 狩野文庫以外の資料の電子化
 - ・ NW事業による電子化（旧制二高蔵書など）
 - ・ 漱石文庫 → クラウドファンディング事業により遂行中
 - ・ 古文書
 - ・ 西藏大蔵経（チベット仏教）
- 画像を公開するプラットフォームの整備
 - ・ 複数のサイトに分散、集約が必要

資料の所蔵からコンテンツの世界的共有へ
→ ヒト・カネ・モノの連携を！



国宝「類聚国史卷第二十五」

(平安時代末期写)

類聚国史は菅原道真が編纂した歴史書。205巻のうち現存は62巻。当館所蔵は平安末期の書写で最古の写本の一つとされる。



国宝「史記孝文本紀第十」

(延久5年(1073)写)

司馬遷によって編纂された史記を大江家国が書写し、訓点をほどこした。年代が明記された史記としては我が国でも最古のもの。



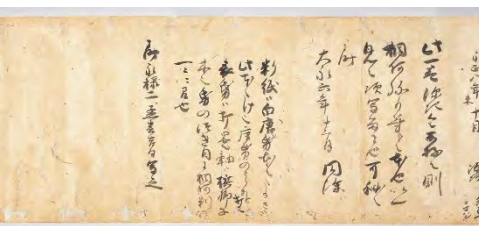
本草綱目 金陵本

中国の金陵から刊行された本草の書。後に様々な版が作成されたが、完全に揃った初版金陵本は世界中にも8組しか確認されていないという。



坤輿万国全図

イタリア人宣教師マテオ・リッチが作成した世界図。本図はそれをもとに作成した写本の一つで、彩色の美しさに特徴がある。



君台観左右帳記

室町時代の床飾りならびに中国鑑賞に関する秘伝書。原本は失われているが、狩野文庫本が最も原本に近いと考えられている。



群分品彙

江戸時代に作成された貝の図鑑。

※ これらの資料は新日本古典籍総合データベースでは公開していません。詳細は東北大学附属図書館へお問い合わせください。

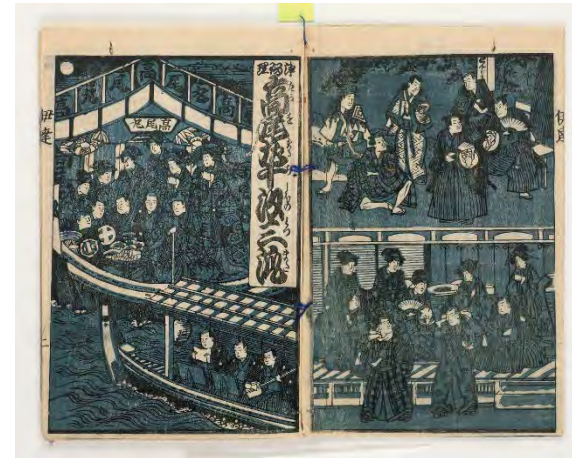


黒本集(信玄一代記)



青本集(あぶらの惚薬)

江戸時代に発達した、黒や青の表紙をつけた絵入り絵本。黒本・青本と称し、江戸時代文学の早い形を示す貴重な資料となっている。



伊達競阿国歌舞伎

江戸時代前期の仙台藩のお家騒動と茨城県で起こった悪霊伝説を組み合わせた歌舞伎狂言の台本。



絵本狂歌山満多山

葛飾北斎が手掛けた絵入狂歌本の代表作。

狩野文庫、その名は東北大学文系の顔である。大家・研究者が文庫閲覧のために 仙台詣でを行う話は枚挙にいとまがない。
(中略)

狩野文庫がわが国有数の和漢古典の大コレクションであることは夙に知られている。戦前より国宝に指定されている『史記孝文本紀』・『類聚国史 卷第二十五』の二点をはじめ和漢古典の貴重書はきわめて豊富である。いまなお書誌的新発見があるのも故なしとしない。同文庫普通本のなかから国史大系などで知られる類聚三代格の欠失部分を補い誤脱を補正しうる狩野本が発見され、日本史学会に大きな驚きを与えたことは記憶に新しい。

渡辺信夫「江戸文化の宝庫」狩野文庫マイクロ版集成パンフレットより

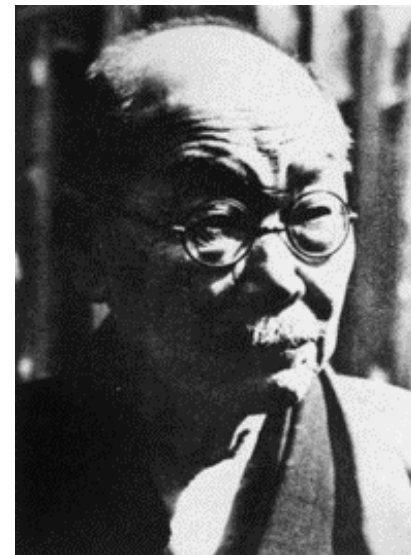
https://kw.maruzen.co.jp/ln/mc/mc_doc/kanohbunko.pdf

(2020-12-16確認)

件の和漢書は殆んど文化の凡ての方面に亘って之を網羅し、一方に偏してゐない。和漢書目録の含む部門項目にして、本文庫に之を缺くものは殆んどないと言へること、分類表の示す如くである。而してその各項目に於いては、繁簡さまざまで一様でなく、そこに自ら本文庫の特色もある。而してもとより洩れたものも少くないが、諸方面を通じて、普通有用の書物が相應に普く集められてゐることが、まづ本文庫の大學圖書館の藏書としての価値である。

村岡典嗣. “狩野文庫について”. 狩野文庫概説. 東北帝國大学附屬圖書館, 1937.
pp.1-16

1865 (慶応元)	出羽国秋田郡大館町生
1888 (明治21)	東京帝国大学理科大学 (数学科) 卒業
1891 (明治24)	東京帝国大学文科大学 (哲学科) 卒業
1892 (明治25)	第四高等中学校教授 (～1894)
1898 (明治31)	第五高等学校教授 (～1898)
1899 (明治32)	第一高等学校長 (～1906)
1906 (明治39)	京都帝国大学文科大学長 (～1908)
1908 (明治41)	辞職 (以後、官職に就かず)
1912 (大正元)	狩野文庫第一期納品 (荒井泰治の寄付による購入)
1914 (大正3)	<u>東北帝国大学総長推薦を断る (澤柳政太郎の推薦)</u>
1923 (大正12)	狩野文庫第二期納品 (図書館経費にて購入)
1929 (昭和4)	第三期納品 (狩野自身による寄贈)
1942 (昭和17)	病没 (12.22)
1943 (昭和18)	狩野文庫第四期納本 (遺蔵書)

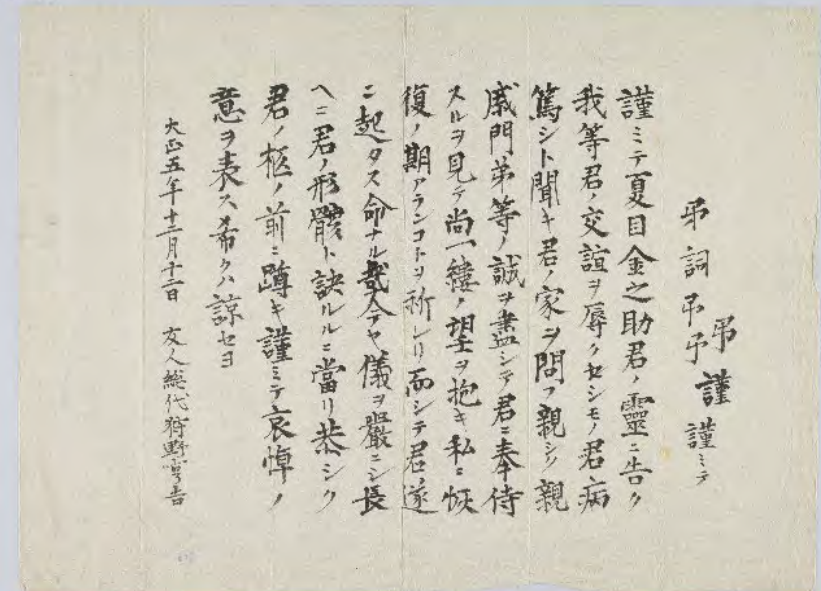


夏目君と私と相識ったのは、夏目君が松山へ赴任される少し以前で、山川信次郎君を介してであった。それから、ずっと交際を續けて、熊本高等學校時代にも一緒になり、英國留學から歸って來られて一高へ出られた時も一緒になり、又大學を止められて、朝日新聞社へ入り、明治四十年の春、京都へ來られた時には、しばらく私の家に滞在してをられるなど、非常に親しくしてをった。

狩野. “夏目君と私”. 狩野亨吉の研究. 鈴木正. ミネルヴァ書房, 2013, p. 465-466.

漱石の葬儀の際に、友人代表として弔詞を読んだのは狩野亨吉である。その下書として残っているものが右の写真である。

28-1(1) 弔行



狩野 私が集めました本には特にお話を申上げる値打のあるものはありますまいが、種類に就て申上げますと、それは何でもありましたのです。私は始め数学をやったのですが、それから先きは何処へ行ったか、専門がなくなりましたので、本も何と云ふことなしに集めました。又学生時代に日本の思想史と云ふものを調べて見たいと云う考がありまして、其の考が後まで幾らか影響して居った訳ですが、併し思想と云うても単に哲学とか宗教とか云ふやうなことに限らないで、科学でも芸術でも皆入れてやる積りであったのですから、何となしに集めたのです。

狩野ほか．“狩野博士に物を訊く会”．狩野亨吉の研究．鈴木正．ミネルヴァ書房，2013，p. 541-567．

四高時代、先生に蒐集なさる本を最後に何う爲るかと突込んで伺つたら、先生は『門外不出』の判ある本が質屋から出るものだから、苦心して蒐集した本は子孫に残すべきものでない。**金があれば圖書館を建て公開するのが上策**、其が出来ねば圖書館に寄付するのが中策、之すら出来ねば**安く纏めて圖書館に譲るのが下策**だと話されたが、不幸にして先生の藏書十萬は下策を採らるるの止むを得なかつたのであつた。

先生は文獻資料價值あるものの煙滅を惜んで、重複のものも端本斷簡でも蒐められ、端本が何時の間にか揃つて完璧になったこともあつた。而して重複したものは、研究者や同好者に心易く譲られた。嘗て重複したものを示されて、金持は溜る程汚くなるといふが、笑はれないなと笑はれたが、先生の蒐集には思ひ切つた遣方もあつた。書齋丸包みの出物の内に、文獻史上見逃してならぬものがあると、全部買取つて、不要の物をドシドシ手離されたから、先生の蒐集必しも廉では無つたと思ふ。

桑 木 霊の働きと云うことは知ってますがね。
狩 野 矢張り私は頭の構造の結果であると思ふ。吾々の倫理でも制限を受けて居る。自由と云ふものは、ネセッサリーの、複雑したものである。本来総てネセッサリーのもの。この頃の物理学はさうではないやうですが、私どもが学生時代に考へたものは、何んでもネセッサリーである。それでネセッサリーのものが集って来るのであります。さうすると、その間にインターアクションが出来て、何時の間にか、ネセッサリーが隠れてしまって、アービトラリネスと云ふことは、ネセッサリーの複雑したものである。

長谷川 物理学ではさうですか。
狩 野 物理学ではさうです。その一番簡単な例は、物理の教科書に書いてあります。サイン、コサインの曲線を重ねると、だんだん複雑なものになる。整然たるそれを重ねると、だんだん大きくなる様ですが、出発点はここ、其次はここにするとか云ってだんだん違った起源のものにすると、その結果が大変乱れた曲線になる。さうして最後にかういうものが、フーリエのセオレムと云うものがありますが、どんな曲線でも、任意の曲線を描く、自由にやる、出鱈目にする。その曲線はサイン、コサイン曲線に分解することができる。どんな出鱈目の曲線でも、それで作り上げる事が出来ると云ふ事が定理になって居る。

狩野ほか．“狩野博士に訊く”．狩野亨吉の研究．鈴木正．ミネルヴァ書房，2013，p. 523-540．